2022年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報

科目名	情報技術と職業＿演習（Information Technology at Work Place – exercise）		
ナンバリングコード	P21602	大分類 / 難易度 科目分野	情報メディア学科 専門科目 / 標準レベル キャリア開発
単位数	2	配当学年 / 開講期	2 年 / 通年
必修･選択区分	選択 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	P160201	クラス名	–
担当教員名	松永　多苗子、星芝　貴行、坂井　美穂、足立　元、坪倉　篤志、福島　学、清田　雄二		
履修上の注意、 履修条件	課題に対する取り組み等を重視します。出席を欠かさないで下さい。 全員、履修してください。（学科推奨科目） 履修制限：当該学年次のみ履修可、再履修：不可 授業時はもちろん、各自の主体的な学内外での取り組みも重要になります。		
教科書	必要に応じて教員が資料を作成し配布します。		
参考文献及び指定図書	各学生に合わせて、基礎学力、ペン字検定、漢字検定、英検、数学検定の書籍を活用します。		
関連科目	各種専門科目、社会参画系授業、情報特別演習（1～8）、情報技術と職業		

○成績評価の指標 / ○成績評価基準（合計100点）

到達目標の観点	到達目標	テスト（期末試験・中間確	提出物（レポート・作品等）	無形成果（発表・その他）
【関心・意欲・態度】	設定した将来の目標に向け、到達できるよう取り組む。就職活動に向けた準備		15点	5点
【知識・理解】	実践的な就職活動に向けた、知識の習得	40点		
【技能・表現・コミュニケーション】	演習を通して集団面接の実践能力やグループディスカッション能力を育成		15点	5点
【思考・判断・創造】	就職活動に向けた実践的な判断ができる		15点	5点

○成績評価の補足（具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法）

レポートの提出、レポートの記載内容
課題やワークへの取り組み

フィードバック方法
・課題：LMSにてコメントバックと評価、次回授業で講評と解説
・試験：すべての試験結果は翌週以降に返却する

○基本情報

授業の目的	４年間で取り組んでいるキャリア教育プログラムの２年目のステップです。 主テーマ　将来の実際を見つつ、到達可能な目標に向けて取り組む。実物体験を通して主体的活動能力を習得し、社会を知る。 　大学卒業後の進路を目標と設定し、その進路を実現するために、在学中における様々な取り組みを行います。	
授業の概要	これまでに建てた将来の目標に向け、業界が求める能力や自己能力と向き合います。不足している能力については、取り組み、必要に応じて目標の再確認をします。また授業の中で、様々な講演等から、社会の現実と自分のイメージの違いを学習します。さらに1年に引き続き、「グループディスカッション」や「実物体験」等に取り組み、計画性、主体性、自主性に加え、専門業界が、どのように実際の社会の中で活用され、どのように構築・制作されているのか、学習します。学期後半に一般常識の小テストを行ないます。小テストまでに各自で基礎学力の修得に取り組んでおきなさい。 　実物体験：学内外で実施されるイベント・発表会・展覧会・説明会・シンポジウム・企業訪問等での学習。各自で自主的に取り組みます。 　主テーマ　将来の実際を見つつ、到達可能な目標に向けて取り組む。実物体験を通して主体的活動能力を習得し、社会を知る。	
授業の運営方法	（1）授業の形式	「演習等形式」
	（2）複数担当の場合の方式	「オムニバス方式」
	（3）アクティブ・ラーニング	「実習、フィールドワーク」
地域志向科目	カテゴリー Ⅱ：地域での体験交流活動を教育内容に含む科目	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○その他

PCルームでの出席登録は授業開始最初の5分、遅刻登録は授業開始最初の10分までとする。所定のシステムで、所定の時間内に、各自で登録作業をしなさい。登録無き場合、欠席と記録します。
他教室での出席管理は、所定の手法で行います。
教員が指定するWebシステムやサーバを用いた演習を行います。

第1回授業時に受講場所を申請していただきます。申請場所以外での受講は受講と認めません。
受講場所を変更する場合は、前受講回時に相談をすること。
出席状況・課題提出状況が芳しく無い場合、受講場所を学内に変更するよう指示します。
授業プログラムは、シラバスに沿って実施しますが、受講生の進捗状況や、社会情勢を考慮しながら、再調整することがあります。

1回授業時に受講場所を申請していただきます。申請場所以外での受講は受講と認めません。
受講場所を変更する場合は、前受講回時に相談をすること。
出席状況・課題提出状況が芳しく無い場合、受講場所を学内に変更するよう指示します。
授業プログラムは、シラバスに沿って実施しますが、受講生の進捗状況や、社会情勢を考慮しながら、再調整することがあります。
スケジュール管理、タスク管理も非常に重要です。授業での課題、演習を通して修得しなさい。
課された課題への取り組みが非常に重要です。さらに各自でさらなる技能修得や知識の応用など、自主的な取り組みが非常に重要です。
実物体験への取り組みは、各自で計画立てて取り組み、結果（報告書）を締め切りまでに提出しなさい。なお、報告書を受け付けは、所定の時間帯と場所以外では対応いたしません。（所定以外の提出物は受理せず破棄します）

授業内でのスマホの利用は、利用を許可するアナウンスが無い時間帯以外は禁じます。授業内はスマホの電源OFF、カバンの中に片付けていることを前提とします。利用を許可する場合、机の上で、授業に関係する内容での利用に限ります。
授業中の無断退席や、授業中の姿勢、授業への取り組みも評価対象です。（授業への取り組みが無いと判断できる場合、事前告知なしに早退や欠席と判断する場合があります。）
課題への取り組みと提出は、特に指定がない限り、各個人での取り組みと提出になります。
他人の提出物を複製した提出物は評価対象外です。
著作権を含む法令違反のある提出物は、評価対象外とします。
後に明らかになった場合、全ての評価結果を見直す場合があります。

本授業への取り組みや成果は、学内の関連機関や、家庭と情報共有いたします。

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名	情報技術と職業＿演習（Information Technology at Work Plac	授業コード	P160201
	担当教員	松永　多苗子、星芝　貴行、坂井　美穂、足立　元、坪倉　篤志、福島　学、清田　雄二		

学修内容

1. ガイダンス
本授業での取り組みについて説明を行ないます。

予習	春休みの取り組みを振り返り、今期の取り組みについて一度考えておいてください	約2時間
復習	今期の取り組み内容から、具体的な学習へ取り組み始めてください。	約2時間

2. GATBワーク
1年次に取り組んだGATBの結果から、職業に対する適性を確認します。これら結果から、各自の将来の方向性について見つめ直します。

予習	将来の方向性について考えておいてください。	約2時間
復習	検査結果から、再度、将来の方向性について見つめ直してみましょう。	約2時間

3. 業界の実際（現実・企業訪問報告）
学生諸君が目指す各業界で、実際に取り組まれている事項について解説します。これらから、理想としてとらえている業界と、現実に業界で取り組まれていることの違いを学びます。

予習	将来希望する業界について、各自で調査しなさい。	約2時間
復習	講義で聞いた話から、将来希望する業界について再度調査しなさい。	約2時間

4. 企業の方々のお話①、九州の企業
企業で活躍されている方々から、業界の実際についてお話をいただきます。講演後の質疑応答時間にて、質問能力などの育成も行います。

予習	講演企業について、各自で調査を行い、当日、担当者に質問することを準備しなさい。	約2時間
復習	講演企業に関連する企業について、各自で調査を行い、まとめておきなさい。	約2時間

5. 企業の方々のお話②
企業で活躍されている方々から、業界の実際についてお話をいただきます。講演後の質疑応答時間にて、質問能力などの育成も行います。

予習	講演企業について、各自で調査を行い、当日、担当者に質問することを準備しなさい。	約2時間
復習	講演企業に関連する企業について、各自で調査を行い、まとめておきなさい。	約2時間

6. 業界研究①
将来に向けた、まずの1歩として業界について調査に取り組みます。まず練習を行い、その後、各自でワークに取り組み、調査研究能力を習得します。

予習	各自が希望する業界について、絞り込んでおいてください。	約2時間
復習	グループ別のテーマに従い、各人が企業について調査を行いなさい。	約2時間

7. 業界研究②
将来に向けた、まずの1歩として業界について調査に取り組みます。まず練習を行い、その後、各自でワークに取り組み、調査研究能力を習得します。

予習	グループ別で各個人が調査した結果について、整理しておきなさい。	約2時間
復習	グループでの調査結果をもとに、整理しなさい。さらに不足分について調査しなさい。	約2時間

8. 業界研究③
将来に向けた、まずの1歩として業界について調査に取り組みます。まず練習を行い、その後、各自でワークに取り組み、調査研究能力を習得します。

予習	グループ別で各個人が調査した結果について、整理しておきなさい。	約2時間
復習	調査結果を整理しなさい。	約2時間

○授業計画	科 目 名	情報技術と職業＿演習（Information Technology at Work Plac	授業コード	P160201
	担当教員	松永　多苗子、星芝　貴行、坂井　美穂、足立　元、坪倉　篤志、福島　学、清田　雄二		

学修内容

9. インターンシップ体験談・説明会
昨年度、インターンシップに取り組んだ学生から、インターンシップの体験談の発表を聞き、企業の中での業務や、企業について知ります。さらに、今年度のインターンシップ受け入れ企業についても学習し、自主的にインターンシップに取り組みます。

予習	インターンシップに行く上での疑問や不安についてまとめておきなさい。	約2時間
復習	インターンシップを希望する分野について受け入れ企業やスケジュール・制度について調査し、エントリーしな	約2時間

10. 実物体験①
半期の間に各自で計画立てて、学内外にて情報メディア関連業界について体験し学習に取り組みます。この中で主体性や活動能力、文章作成能力を学びます。

予習	学内外での実物体験に対応できるイベントの調査と計画	約2時間
復習	取り組みからレポートへの取り組みと報告	約2時間

11. 実物体験②
半期の間に各自で計画立てて、学内外にて情報メディア関連業界について体験し学習に取り組みます。この中で主体性や活動能力、文章作成能力を学びます。

予習	学内外での実物体験に対応できるイベントの調査と計画	約2時間
復習	取り組みからレポートへの取り組みと報告	約2時間

12. 個人面談
大学に入学しておおよそ1年半が経過しました、あと1年と少しで就職活動が本格化します。これまでとこれからについて、担任と振り返り・検討します。

予習	今期の取り組みについて振り返っておいてください。面談時に必要な書類は用意しておきなさい。	約2時間
復習	面談結果から、各自で取り組む事項に取り組み始めなさい。	約2時間

13. 実物体験③
半期の間に各自で計画立てて、学内外にて情報メディア関連業界について体験し学習に取り組みます。この中で主体性や活動能力、文章作成能力を学びます。

予習	学内外での実物体験に対応できるイベントの調査と計画	約2時間
復習	取り組みからレポートへの取り組みと報告	約2時間

14. 一般常識　小テスト
企業の選考会や大学院入試において、基礎学力は求められます。これらの制度について、まず解説を行います。その後、現段階の学力を捉えるため、一般常識に関するテストを行います。

予習	一般常識分野で各自が弱い分野に対する学習	約2時間
復習	試験への取り組みから、自己採点を行い、弱い部分について各自で学習に取り組みます。	約2時間

15. ガイダンス
前期の締めくくりとして、ガイダンスを行います。また期末小テストとして時事問題を体験します。また一般常識模試の結果と時事問題の結果から、今後の学習計画について再度検討します。

予習	今期の取り組みを振り返っておきなさい。	約2時間
復習	試験結果から立案した学習計画に則り、学習に取り組みます。	約2時間

16.

予習		
復習		

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名	情報技術と職業＿演習（Information Technology at Work Plac	授業コード	P160201
	担当教員	松永　多苗子、星芝　貴行、坂井　美穂、足立　元、坪倉　篤志、福島　学、清田　雄二		

学修内容

17. ガイダンス・企業訪問報告
今期のキャリア教育プログラムについて解説します。また夏季休業中の企業訪問結果について、報告いたします。

予習	夏休みの取り組みについて振り返っておいてください。	約2時間
復習	企業訪問報告から、希望する分野の企業について具体的に調査します。	約2時間

18. 一般常識模試
各種進路の試験において、基礎学力が求められます。まずは各進路に対し、必ず課される筆記試験について、解説を行います。その後、選考会における姿勢や態度について解説します。さらに、基礎学力（一般常識）について試験を取り組みます。

予習	受験料の支払いと、基礎学力の改善。	約2時間
復習	試験結果から各自で自己採点を行い、弱い部分について各自で勉強に取り組み始めます。	約2時間

19. 企業研究①
目標とする企業について4回の授業で研究に取り組みます。まずは練習として演習課題に取り組みながら、企業研究の方法について学習します。その後、各自で調査に取り組みまとめます。

予習	企業研究に取り組む分野について考えておいてください。	約2時間
復習	学習した企業研究の方法について、各自で振り返っておいてください。	約2時間

20. 企業研究②
目標とする企業について4回の授業で研究に取り組みます。まずは練習として演習課題に取り組みながら、企業研究の方法について学習します。その後、各自で調査に取り組みまとめます。

予習	各自で実際に自分で調査する分野について、考えておきなさい。	約2時間
復習	選択した分野において、企業調査に取り組みなさい。	約2時間

21. 企業研究③
目標とする企業について4回の授業で研究に取り組みます。まずは練習として演習課題に取り組みながら、企業研究の方法について学習します。その後、各自で調査に取り組みまとめます。

予習	業界研究に取り組んだ結果をまとめておきなさい。	約2時間
復習	選択した分野において、企業調査に取り組みなさい。	約2時間

22. 企業研究④
目標とする企業について4回の授業で研究に取り組みます。まずは練習として演習課題に取り組みながら、企業研究の方法について学習します。その後、各自で調査に取り組みまとめます。

予習	業界研究に取り組んだ結果をまとめておきなさい。	約2時間
復習	業界研究に取り組んだ企業について、整理しておきなさい。	約2時間

23. ワーク②　一般常識模試結果・ワーク
第18週に取り組んだ一般常識模試の結果から、各自の学力について見つめ直します。さらに、試験結果を受け、今後の学習計画の立案に取り組みます。

予習	一般常識模試の問題用紙、回答と解説に目を通しておいてください。	約2時間
復習	学習計画に則り、各自で学習に取り組みます。	約2時間

24. 就活体験談
本年度の就職活動生で内定取得者が、就職活動にて取り組んだことを、全学生に向けて発表します。学生は、話から就職活動に向けて取り組むことを学習します。 また諸先輩方からお話を聞いたり、質問することから、コミュニケーション能力の習得にも取り組みます。

予習	描いている将来像に到達するために必要な取り組みについて整理しておいてください。	約2時間
復習	諸先輩方からのお話や質問から、各自が取り組むことの再調整と具体的な取り組みを行ってください。	約2時間

○授業計画	科 目 名	情報技術と職業＿演習（Information Technology at Work Plac	授業コード	P160201
	担当教員	松永　多苗子、星芝　貴行、坂井　美穂、足立　元、坪倉　篤志、福島　学、清田　雄二		

学修内容

25. 実物体験①
半期の間に各自で計画立てて、学内外にて情報メディア関連業界について体験し学習に取り組みます。この中で主体性や活動能力、文章作成能力を学びます。

予習	学内外での実物体験に対応できるイベントの調査と計画	約2時間
復習	取り組みからレポートへの取り組みと報告	約2時間

26. 実物体験②
半期の間に各自で計画立てて、学内外にて情報メディア関連業界について体験し学習に取り組みます。この中で主体性や活動能力、文章作成能力を学びます。

予習	学内外での実物体験に対応できるイベントの調査と計画	約2時間
復習	取り組みからレポートへの取り組みと報告	約2時間

27. 実物体験③
半期の間に各自で計画立てて、学内外にて情報メディア関連業界について体験し学習に取り組みます。この中で主体性や活動能力、文章作成能力を学びます。

予習	学内外での実物体験に対応できるイベントの調査と計画	約2時間
復習	取り組みからレポートへの取り組みと報告	約2時間

28. 個別面談
大学に入学しておおよそ2年が経過、あと1年後に就職活動が始まる時期になりました。このタイミングで担任と個別に面談を行い、これまでとこれからについて、振り返り、検討します。

予習	今期の取り組みについて、振り返り、進路について考えておくこと（ワークシートへの取り組み）	約2時間
復習	面談結果から、今後の取り組みについて見つめ直し、実際の取り組みを行うこと	約2時間

29. 実物体験④
半期の間に各自で計画立てて、学内外にて情報メディア関連業界について体験し学習に取り組みます。この中で主体性や活動能力、文章作成能力を学びます。

予習	学内外での実物体験に対応できるイベントの調査と計画	約2時間
復習	取り組みからレポートへの取り組みと報告	約2時間

30. 実践演習（社会に向けて）
大学生から社会人になるに向けて、姿勢や考え方について、進路開発センターの職員にお話いただきます。

予習	進路の方向性について見直しておいてください。	約2時間
復習	伺ったお話から各自で、具体的な取り組みを行いなさい。	約2時間

31. ガイダンス・期末小テストワーク・学習計画
第29週に取り組んだ期末小テストの結果から、各自の現時点の能力を確認します。結果を踏まえ、1年後に始まる就職活動に向け、改善するべきポイントを捉え、学習計画を立案します。

予習	今期の取り組みについて振り返っておいてください。	約2時間
復習	各自で計画に沿って学習に取り組みなさい。	約2時間

32.

予習		
復習		